

湯の丸山山行報告

【山行日】2020年 6月 24(水) 曇り時々晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 6:00

【費 用】マイカー1台 : 3,300円

【メンバー】CL:鈴木、 SL:大西、安西、島田、
田村、福島、渡辺

【コースタイム】岩舟支所 P6:00＝地蔵峠 P8:05/8:20
～リフト上ベンチ 8:40～ツツジ平東屋 8:45～

湯の丸山 9:25～北峰 9:35/9:45～湯の丸山
10:00/10:15～鞍部 10:45～烏帽子岳 11:40/12:25～

鞍部 13:15/13:20～キャンプ場 13:50/14:10～地蔵峠 P14:00/14:10＝岩舟支所 P16:40

60万本のレンゲツツジを求めて湯ノ丸山から烏帽子岳に登る計画を立てた。
上信越道小諸 IC で降り、登山口の地蔵峠を目指す。スキー場の広い駐車場に車を止め、トイレを



済ませストレッチを行って出発する。駐車場正面のゲレンデから登って行くが、SL は右手のなだらかな草原に行くコースを進む。初めはなだらかに登って行くが、途中から急坂を登るようになりいつものコースより時間が掛かってしまう。リフト上のベンチで休憩し、衣服調整と水分補給を行う。

ここからほんの少し先がツツジ平入口で、牛避け柵を通過してツツジ平に入っていく。ツツジ平は文字通りレンゲツツジの大群生地、ここに咲くレンゲツツジは国の天然記念物に指定

されている。ツツジ平は丁度見頃だったが、やはり今年は花付が悪く去年のような見事さは無かった。それでもオレンジ色のレンゲツツジの間を歩き、「凄いね～～」と言いながら満足そう。時々牛

のフンがあるので、足元に気を付けながら花を楽しみ展望ベンチで小休止。ここから登山道を少し歩くと風見鶏と鐘で形どられた標識が立ち、湯の丸山への急登が始まる。ここでのんびり歩きの2人と別れ、健脚組が先行して登る。のんびり歩きの二人は、湯の丸山頂から北峰に登らず烏帽子岳に向かう予定。初めは灌木の中を登るが、次第に展望が開けレンゲツツジやコイワカガミの花が目を楽しませてくれる。岩がゴロゴロとする登りを過ぎ、ササの原に行くようになると傾斜が緩くなり



間もなく湯ノ丸山山頂に着く。山頂で写真を撮ったらザックをデポし、三角点のある北峰へ向かう。なだらかな稜線にはイワカガミが群生し、これから登る烏帽子岳を見ながら爽快に歩く。

北峰は岩の山頂で、狭いが360度の眺望が得られる。展望を楽しんだら南峰に戻り、メロンや菓子を



を食べエネルギーを補給する。山頂から烏帽子岳に向かって鞍部まで一旦下る。急坂を20分程下ると鞍部に出て、烏帽子岳へは右に進む。道は大きく左に巻きながらジグザグに高度を稼いで行くが、グンナイフウロやベニバナイチヤクソウなど花が一番多く見られる場所だ。やがて尾根に出ると再び視界が開け、ここから烏帽子岳までは快適な尾根歩きを楽しむことができる。登山道の脇には沢山の花が見られ、ハクサンチドリやコイワカガミ、コマクサ等が目を楽しませてくれる。

小烏帽子岳の手前でのんびり組の2人に追いつき、山頂まで一緒に登って行く。ところが山頂の少

し手前で徳ちゃんの足が攣り、皆さんに先行してもらい手当てをする。ツムラ68番を飲んで、少し休むと回復し山頂に着く。山頂で記念写真を撮り、平らな場所に陣取ってランチタイムとする。焼きそばとスープを作り、賑やかにランチをいただく。お腹いっぱいになったら後片づけをして、往路を戻り下山する。鞍部まで下ったらそのまま直進し、キャンプ場を通過して道路を下り駐車場に着く。靴を履き替え、トイレを済ませて帰路につく。途中、道の駅「雷電くるみの里」に寄り、くるみソフトクリームを食べお土産を買ったら岩舟支所に向かう。上信越道は渋滞も無く順調に走り、予定より早く岩舟支所に帰着出来た。

